

# 国労東日本

(組合員の購読料は)  
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 高野苗実  
編集責任者 伊藤隆夫

No. 696 定価  
20円

2010年  
4月 15日

第2回組織拡大標語  
最優秀作品  
今日も笑顔で  
一人一人が  
組織拡大  
一声かけて

<http://www.e-nru.com>

携帯用ホームページはこちらのQRコードから

# 入社おめでとうございます



## JR東日本・貨物「入社歓迎」の宣伝行動4/1



### 2010年度新入社員数 (JR 東日本)

ポテンシャル	196
プロフェッショナル	1657
医療	40
合計	1893
男性	1437
女性	456



温かさの戻った4月1日、JR東日本・貨物会社の入社式が開催され、「超氷河期」と言われる厳しい就職状況を乗り越え、晴れてフレッシュJRMマが誕生しました。

国労東日本と全国貨物協議会は、例年の宣伝行動をそれぞれの会場周辺で取り組み、「入社おめでとう」「国労です」と歓迎しました。

今号は、①JR入社式行動 ②「信濃川発電所」関係の報告とします。

### 入社式行動 東日本

JR東日本の歓迎行動は、東京地本の仲間を中心に、入社式会場のさいたま市・大宮ソニックシティ周辺で取り組みました。

真新しいスーツに身を包んだ新社会人に、チラシのもらったク

リアーフアイル、ティッシュの歓迎行動。多くの新入社員は、入社後、新白河の研修センターに移動となり4月下旬から各職場配属となります。



### 2010年度新入社員数 (JR 貨物)

本社	22
北海道支社	12
東北支社	10
関東支社	25
東海支社	15
関西支社	25
九州支社	9
合計	118



### 入社式行動 貨物

JR貨物入社式に対する取り組みは東京・飯田橋の本社前で行いました。

支社毎に入場する新入社員に向けて、チラシの配布、プラカード、「入社おめでとう」「国労です!」「研修頑張ってください!」などの声かけによるアピールを行いました。

緊張の面持ちの新入社員も我々のアピールに笑顔で応えるなど、しっかりと国労のアピールができました。参加した仲間からは、「昨年入社した人から、国労のアピールを覚えていいますと言われてうれしかったです。」などの声も聞かれ、今後も創意工夫した取り組みを、関係機関と連携しながら行う事を確認し行動を終了しました。



## ブロック別組織対策交流集会

### 自分を信じ、仲間を信じ、国労へ!

#### 1、第一ブロック組織対策交流集会

- ① 日時：5月23日(日)～24日(月)
- ② 場所：千葉・サンライズ九十九里

#### 2、第二ブロック組織対策交流集会

- ① 日時：5月30日(日)～31日(月)
- ② 場所：いわき・新舞子ハイツ

#### 3、第三ブロック組織対策交流集会

- ① 日時：6月13日(日)～14日(月)
- ② 場所：マホロバマインズ

#### 4、第四ブロック組織対策交流集会

- ① 日時：6月20日(日)～21日(月)
- ② 場所：水上温泉・旅館『松乃井』

信濃川  
発電所

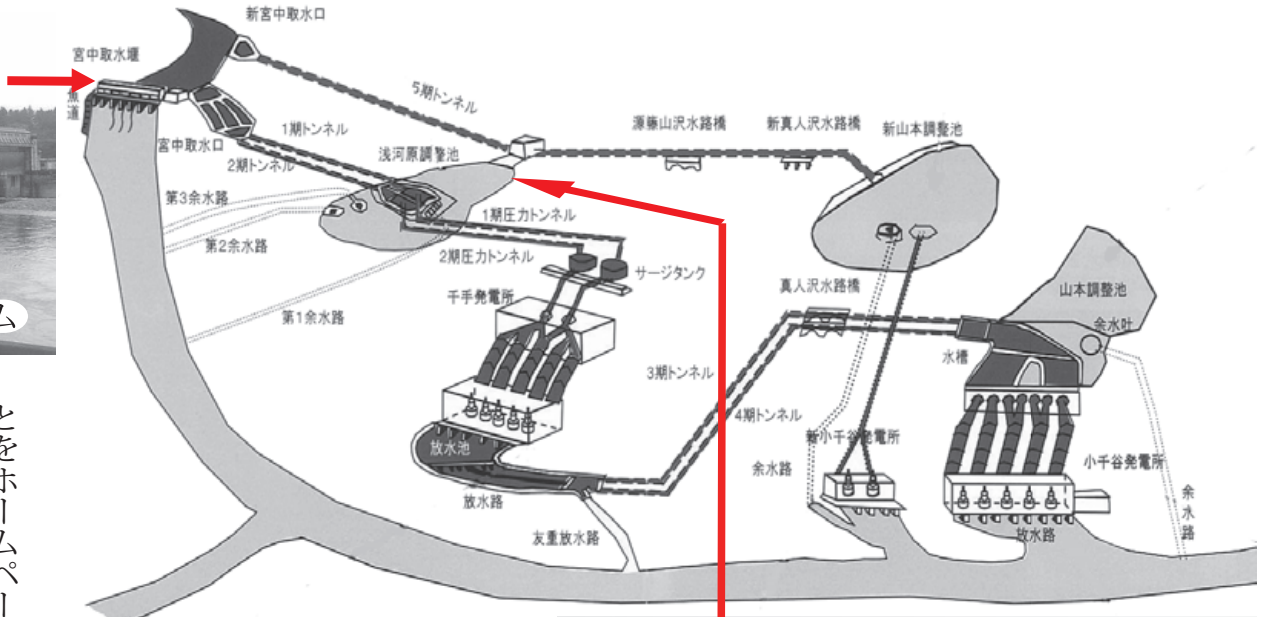
# 取水停止から丸1年 体質改善をどう進めていくのか

J R  
東日本

## 職場での意思疎通やチェック機能がしっかりと働いているか



宮中取水ダム



とをホームページ上で明らかにした。不正取水問題に端を発し、水利権の取り消し処分を受けてから、約1年1ヶ月ぶりに発電再開のめどが立ったと言える。この間、関係市町、団体などへの対応や再発防止策の策定、信濃川発電所

4月2日、JR東日本は信濃川発電所における「流水の占有許可申請」を行ったこと



浅河原調整池

2010年(平成22年)3月24日(水曜日) 1076号

**JR東水利権 再申請3市町合意へ**

特別委員会 振興策を了承

十目町市 友好関係構築狙う

JR東水利権再申請 更新「地元」協議

十目町市 友好関係構築狙う

JR東水利権再申請 更新「地元」協議

における体制の見直し・強化など、様々な対策を実施してきた結果として、必要な同意を得られるところとなり、新たな許可申請に至った。

国労東日本本部は、水利権の取り消し処分以来、東京地本や新橋支部と連携を取り、現地の信

濃川発電所分会との交流会や職場要求を掲げた団体交渉に臨み、要求の前進に全力をあげてきた。会社は地元地域との信頼回復にあたる中で、10月の体制見直しに続き、3月にも新たな体制見直しの提案を行ってきた。

10月の体制見直しは、「宮中ダム取水ゲート誤操作」にかかわって、助役の配置を増やし誤動作の発生がないように徹底を図るという提案、3月の新たな体制見直しでは、運転再開に向けた信濃川発電所の全体的な体制強化を図るという提案がされた。団体交渉では、信濃川発電所で働く仲間

の率直な声や現状に基づき、鋭い指摘を会社に投げかけ、地域との共生を基礎に発電業務の信頼回復と二度と不正を起こさない再発防止体制の強化を訴えた。

会社は、我々の指摘に耳を傾け、失った信頼回復と発電再開に向けて真摯に取り組んでいくことを表明した。しかし、これで問題が解決したわけではない。信濃川発電所の心臓部にあたる「総合制御所」の体制見直し提案では、常時二名体制とすることから、新たに一般職に1交代が導入されることとしている。新たなグループ体制の中で業務が円滑に回っていくのか、さらに増やした管理者の体制がうまく機能するのか、などなど、不安材料は山積している。いずれにしても、法令

順守・地域との共生のためには信濃川発電所全体が風通しの良い体制にならないといけない。そのためにも、日頃から社員の意見に耳を傾ける職場の風土づくりと労使関係を尊重する企業としての姿勢が求められている。これからの会社のさらなる取り組みに期待するものである。

がん予防・検診から治療まで、どこでもサポート!

ご契約は満60歳まで

健康支援金をプラス! 新登場!

通院も入院も同額保障に!

がんの保障 + 病氣・ケガの保障

21世紀がん保障 特約MAX21

アベニール 株式会社

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)

東京第三営業本部 第三支社

〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

Tel.03-3344-1889 Fax.03-3344-4036

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

◎詳しくは、パンフレットや「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。



現地交流会